



CIRのつぶやき



2020.11.01 第7号 北海道・マサチューセッツ30周年!

1990年に、北海道とマサチューセッツ州が正式に姉妹提携を結んだが、その友好が1876年までさかのぼるということを、ご存知でしたか？また、滝川市の姉妹都市スプリングフィールド市を訪問した方は500名以上ですよ！この30周年をきっかけに、この交流をもっと知りましょう！～ラブ国際交流員～

友好のはじまり

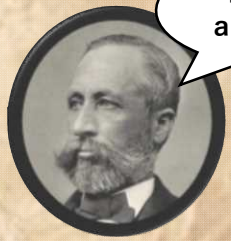


明治時代初期、北海道を開拓するために政府（特に開拓長官の黒田清隆氏）が海外から多くの専門家を招待。その内の、農学者であったマサチューセッツ出身のケプロン農務長官、札幌農学校（現：北海道大学）初代教頭となったクラーク博士らが大きく貢献し、北海道とマサチューセッツ州の友好の種をまいた。また、クラーク博士が創設に貢献したマサチューセッツ大学アマースト校と北海道大学は、現在でも交換留学生などの交流を継続している。

Boys, be ambitious!



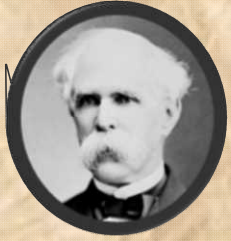
黒田清隆
開拓長官
第2代内閣総理大臣
クラーク、ケプロンの心の友



ウィリアム・クラーク
マサチューセッツ農科大学
第3代学長、
札幌農学校初代教頭



ウィリアム・ブルックス
札幌農学校教頭
玉ねぎ、じゃがいも、
トウモロコシ等を紹介

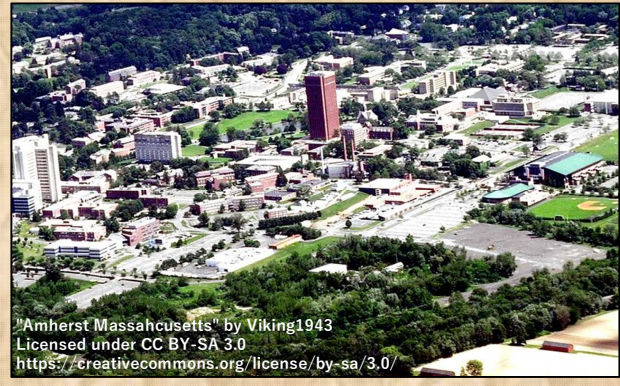


ホーレス・ケプロン
米国農務長官
稲より麦を奨励
(サッポロビールの由来)

友好の象徴となる大学



北海道大学
(当時:札幌農学校)



マサチューセッツ大学アマースト校
(当時:マサチューセッツ農科大学)



CIRのつぶやき



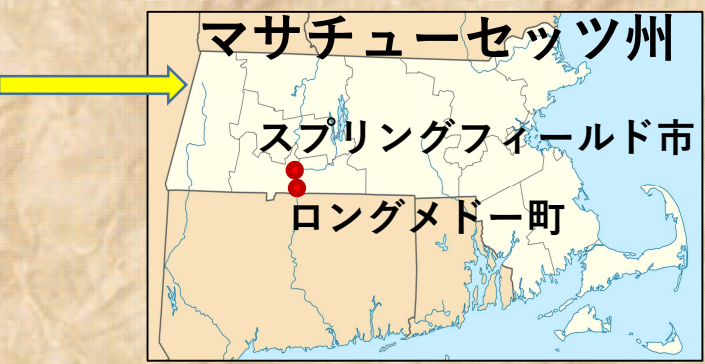
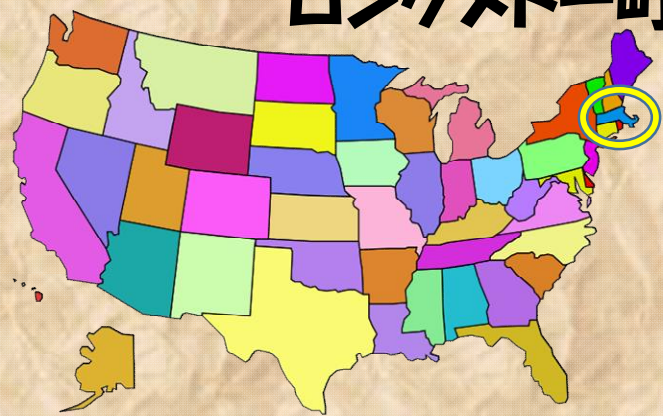
国際理解教育・国際交流・国際協力・国際観光・多文化・相互理解と友好を図る



Facebook page : 滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2020.11.01 第7号 北海道・マサチューセッツ30周年!

滝川市の姉妹都市スプリングフィールド市及びロングメドー町との交流活動



ジュニア大使訪問団

滝川の中高生がスプリングフィールド市、ロングメドー町などを訪問。毎年10月末から11月初めの1週間滞在。ホームステイにてアメリカの生活を体験し、ホストブラザー・シスターと一緒に登校。スプリングフィールド市長表敬訪問し、バスケットボール殿堂館、博物館などを見学。ロングメドー高校では、滝川や母校について英語で発表、出し物を披露。帰国後報告会で、習ったこと、自らがどのように成長したかなどを報告。



ロングメドー高校訪問団受入

これまでに5回受け入れた。2018年は、歴代最大人数：高校生25名、引率教諭（校長、教頭含む）6名。団員がロングメドー町及び高校について発表し、滝川市内視察し、学校の授業に参加。滝川西高校にて姉妹校セレモニーが開催された。4泊5日の短期滞在だが、ホストファミリーと自由に交流できる日もあった。



國學院大學北海道短期大学部がスプリングフィールド大学へ留学

バスケットボールが生まれたことで知られているスプリングフィールド大学で3週間の留学。学生寮に住み、生の英語で大学の勉強と日常生活を体験。紙袋ランタンのワークショップを開き、大学の敷地を滝川のランタンフェスティバルのようにライトアップ。また、世界各国の留学生との授業や交流など有意義な経験ができる。

